



RUMIC WORLD EXHIBITION  
高松市美術館  
小学館

RUMIC WORLD EXHIBITION  
高松市美術館  
小学館

# 高橋留美子展

It's a Rumie World

2009 9.25<sup>金</sup> - 11.1<sup>日</sup>

〒760-0027 香川県高松市紺屋町 10-4  
TEL:087-823-1711 FAX:087-851-7250

Takamatsu City  
Museum of Art  
高松市美術館

休館日/月曜日 (ただし、10月12日(月・祝)は開館、13日(火)が休館)  
開館時間/火-金曜日(9:30-19:00) 土・日曜日、祝日  
(9:30-17:00) 入室はいずれも閉館30分前まで 初日は午前10時開展式  
入場料/一般1,000円(800円)、高大生500円(400円)、小中生  
300円(240円)\* ( )内は前売りおよび団体20名様以上の料金、前売りは美  
術館1階受付にて開展前日まで販売 \* 65歳以上の者(長寿手帳等が必要)・身体障  
害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料 \* 会期中  
土曜日は小・中・高生入場無料 主催/高松市美術館、読売新聞社、  
小学館、RNC西日本放送 協力/(株)サンライズ、高松  
丸亀町商店街振興組合 企画協力/ShoPro

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kyouiku/bunkabu/bijyutu/index.html>

# 高橋留美子展

*It's a Rumic World*

漫画家・高橋留美子さんの作品は、多くの魅力ある脇役達やちょっぴり癖のある主人公が登場し、スピード感ある笑いとほんのり甘い涙で、世代を超え多くのファンに愛されています。本展ではメガヒットの4大タイトル『うる星やつら』、『めぞん一刻』、『らんま1/2』、『犬夜叉』を中心に貴重なカラーイラスト原画など約150点を初公開。また、あだち充さんや青山剛昌さんなど有名作家34人がラムちゃんを描く「My Lum」も特別展示いたします。いつもゴールに向かって回り道、でも、やっぱりハッピーエンド「It's a Rumic World」をお楽しみください。



URUSEI YATSURA 1978

## うる星やつら

1978年～1987年

「コメディ漫画とストーリー漫画に加え、SFの要素も取り入れて描きました。連載の初回には、7回もネームを描き直したのも良い思い出です。」

## めぞん一刻

1980年～1987年

「うる星やつらはギャグ、この作品で軽いコメディ、と描き分けながら、バランスをとりながら描くことができました。「どこが怒りのツボかわからない」、という響きさんのキャラクターは嫌いじゃないですね。私個人のキャラとは少し違いますが。」

## らんま1/2

1987年～1996年

「前の2作品とは対照的に、小学生でも楽しめる作品を描きたいと思ったので、対象年次を下げました。この作品の連載が始まって以来、小さな女の子からの手紙をいただくことが多くなりました。」

## 犬夜叉

1996年～2008年

「私の漫画では、シリアスなキャラクターは必ずどこかでボケる、というイメージがあったようで、連載開始後しばらくは、「いつになってもボケない」という手紙を何通も頂戴したものです……。」

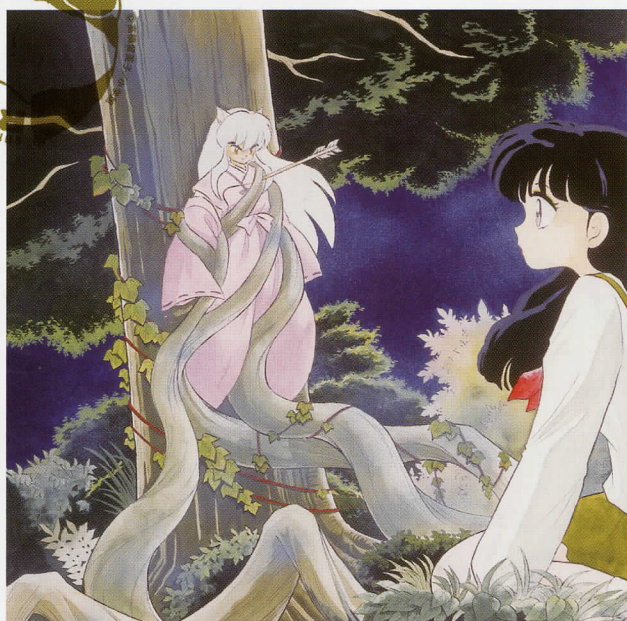
FROM 高橋留美子



RANMA1/2 1987



MAISON IKKOKU 1980



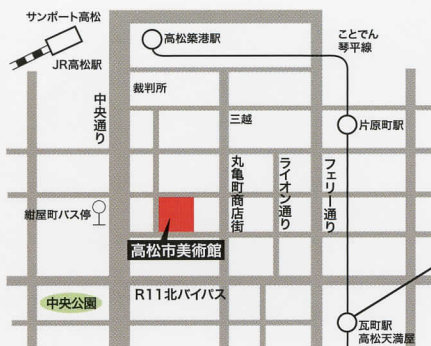
INUYASHA 1996



あだち充  
細野不二彦  
池上遼一  
青山剛昌  
荒川弘  
原哲夫  
松本大洋  
羽海野チカ

## My Lum

有名作家34人がラムちゃんを描く!!  
特別企画  
参加作家  
マイラム



### 交通のご案内

- JR 四国 …… JR 高松駅から南へ徒歩 15 分
- ことでん …… 瓦町駅または片原町駅から徒歩 10 分
- バス路線 …… (レインボー循環バスほか) 紺屋町バス停から徒歩 3 分 (まちバス) 丸亀町バス停から徒歩 2 分
- 駐車場 …… 美術館地下に公営駐車場 (有料、乗用車 144 台収容)

